

【児童の作文から】

(1) むらさきニュース (二年生)

おおむかしのじだいのカンブリアきのじだい、いきものがめつぼうしていた。アノマロカリスのせいで、いきものたちは、きょうりょくなあご)でほとんどくわれた。

(学童で見た本が心に残つていて書いた作文。)

(2) むらさきニュース

カンブリアきのきれいないきもので、いちばんすてきなものは、ピカイアとゆういきものがいた。てんしみたいなすがただつた。

(①の翌日に書いた。前日の強い生き物と対比するよ

うな話。)

(3) むらさきニュースG (二年生)

アメリカのようかいは、いろいろなようかいがいる。そのなかで、メドウーサというようかいがいる。そいつのかみのけはヘビで、そいつにみられたらしいしになつてしまふ。なおすには、あたまのヘビのこえをきいたらもどる。

(①②③までの間、「。」の指導をしてきた。生き物名は、本人が覚えていたもので、綴りも正確だつた。)

(4) おおたけた (三年生)

たたたけたたたたたたたた・・・・・・

(①②③を台紙に貼つて掲示していつたのを見て、ぼ

くも書くから貼つて、強く希望して書いた作文。本文は、たたたけたのあとは、七行「た」の字が大きく力強く書かれた。)

(5) おおおおおお (三年生)

おおおおおおおお・・・・・・

(原稿用紙いっぱいに書かれた字はすべて「お」だつた。話を聞くと、「おにぎり食べると、ドッシー、ドッシー、ザラランラン。右に行つたらいいことあるよ。シャラランランラン、シャラランラン。・・・・三人だよ、ドーン!」と、調子よく歌つて聞かせてくれた。)

ここまで担任に報告し、書こうとする強い意欲がある」とを確認した。)

(6) むらさきニュースOK (一年生)

かにが、なあまと力をあわせて、さるを一らしさるかにがつせんだ。

めるんだ。わたしがよんだのは、「かにむかし」というだいめいだつたよ。1がつ9(二二)のか

(グループのメンバー・エンジニアがあり、作文を書かなかつた子に代わって一年生が入つてきた。その子が初めて書いた作文。漢字も使う。「二二のか」は、この日に習つた言い方を早速使って、自分で読みがなをふつた。)

(7) につき 1/9 (二年生)

きょうは、とけいとたしざんとひきざんをやりました。○○くんがきました。△△くんは、おにぎりのぶんをかいていました。たのしかつたです。かるたもやりました。

(8) けむしのけがぬけた。1/31 (三年生)

(始めて自分で書いた作文。教師が付添つていたが、特に教えることもなく、自分で書いた。)

(9) スペシャルニュース

あのまろかりすはたいちよう1mでがぶりとなんでものみこむオパビニアだつてたべるぐらいつよい。

(絵日記として、絵も描いた。句点、読点が書けるようになつていて思うが、この文章では、最後の「。」だけ書かれていた。1mは、算数で学習したこと。)

* 今後三月末まで継続予定

(2)

ヤ	み	い	な	い	だ	と。	と。
ツ	ん	い	ん	い	れ	も。	も。
ホ	な	き	で	な	ど	だ。	だ。
	で	も	で	い	ち	ち。	ち。
	そ	や	も	い	と。	と。	
	ら	つ	よ	い	も	も。	
	み	て	き	な	だ。	だ。	
			て		ち	ち。	